

研究対象者等に通知し、又は公開すべき事項（情報公開用）

申請番号：20-171

① 試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

- ・ 研究課題名：メラノーマ等、皮膚腫瘍病変の免疫状態の解析
- ・ 目的：メラノーマや進行期皮膚腫瘍は予後が悪い皮膚がんですが、近年、新しい治療薬によってかなり改善されました。例えば抗PD-1抗体は患者さんの体内、とくにがんの周りにもともと存在するT細胞という免疫細胞を活性化させてがんを退治させる薬剤です。最大の特徴は効果の長さですが、これは一度活性化したT細胞という免疫細胞が体内に長く残って、がんを退治し続けるためと考えられています。しかし、まったく無効な患者さんや数年間に渡って抗PD-1抗体によって病状が安定していた患者さんの中でも病状が急に悪化するケースが多く見られる事が明らかになってきました。こうした状況で病状を安定させるには、その原因ごとに対策をたてる必要がありますが、原因についての研究解析は不十分なのが現状です。この研究は患者さんの病巣から得られた生検や手術組織、血液などを解析して、その原因などをあきらかにし、効果的な対処法を開発するのが目的です。

・ 研究期間： IRB承認日～2025年 6月 30日

② 利用し、又は提供する試料・情報の項目（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

： 検体（血液、腫瘍組織）、臨床情報

これらの試料および情報につきましては、個人情報特定されないかたちで基盤研究施設（京都大学）へ郵送にて提供されます。

③ 利用する者の範囲

千葉大学大学院医学研究院皮膚科学（基盤研究施設）	猪爪隆史
千葉県がんセンター研究所細胞治療開発研究部	富樫庸介
千葉県がんセンター研究所発癌制御研究部	筆宝義隆
国立がん研究センター研究所細胞情報学分野	河津正人
国立がん研究センター研究所希少がん研究分野	近藤格
札幌医科大学医学部病理学第一講座	金関貴幸
京都大学大学院医学研究科免疫ゲノム医学講座	谷口智憲
山梨大学医学部皮膚科学	大沼毅紘
信州大学医学部皮膚科学	奥山隆平
千葉大学大学院医学研究院腫瘍病理学	池原譲

④ 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

： 中村泰大（埼玉医科大学国際医療センター皮膚腫瘍科・皮膚科）